

委員会だより

各常任委員会および議会運営委員会が、5月の議員改選に伴い新たな委員構成により活動が始まりました。各委員会における今後の活動計画などについてお知らせします。

総務・教育委員会



辻 弘之
委員 長

先の東日本大震災を受け、防災計画をはじめとする防災体制の見直し・提言に取り組むことはもちろんですが、広域行政のあり方を検証し、西いぶり広域連合や広域消防、定住自立圏構想の進捗よく状況を監視します。また、いじめや不登校、虐待に関する状況調査をはじめ、学校教育現場の実態調査に取り組みます。加えて、社会教育機能が高まりを見せる中、第4次社会教育中期計画の具体的検証を行います。

予算・決算委員会



大村 喬俊
委員 長

昨年から試行してきた予算・決算の審査のあり方について、通告制と発言の持ち時間制を導入することで、質疑を簡潔明瞭にし、効率化・充実化を図ることをねらいとして活動します。
本委員会が条例によって常設化されましたので、会派代表者会議などを積極的に活用しながら、質疑の内容が市民の立場で理解されるよう、さらなる審査の充実強化に向けて、議員の総力を結集して審査ルールを確立し創意工夫を積み重ねていきます。

観光・経済委員会



松山 哲男
委員 長

前期2年間の活動は、次の計画内容で精力的に進めることにしました。①地域経済活性化では、市内各種団体と意見交換を行い、問題・課題を把握して新たな視点での産業構想を検討し、提言に向け調査・研究を行うとともに、市内経済人や行政と連携し、『(仮称)登別市地場産業振興基本条例』の制定に向け取り組んでいきます。②懸案事項の「水道事業」「温泉給湯事業」「カルルス温泉スキー場」などは、現地調査や担当部署からの聞き取り調査などを行います。

生活・福祉委員会



沼田 一夫
委員 長

市民生活に直結する問題や課題について調査・研究を行います。具体的には、町内会活動・市民活動センターについて、不法投棄の状況とその防止活動について、消費者行政について、保健福祉に関する民間団体の状況について、障害者自立支援法に関する事業実態について、子育て支援と虐待防止への取り組みについて、福祉のまちづくり条例制定の進捗よく状況についてなど、関係団体との意見交換や担当部署からの聞き取り、現地調査を行い、市民生活と福祉の向上に努めていきます。

議会だより編集委員会



「開かれた議会」として、議会の傍聴に來られない方や議会中継をご覧になれない方にも、議会活動を理解してもらえよう内容・紙面づくりに努め、市議会ホームページの企画・編集も本委員会で取り組んでいきます。

本委員会は7名中6名が新人議員で構成され、要領が分からないながらも皆で助け合いながら、フレッシュな感覚で議会の広報活動に取り組んでいきます。

議会運営委員会



天神林 美彦
委員 長

委員会の運営方針である「地方分権時代にふさわしい市民参加型の議会運営」を目指すことを基本に取り組んでいきます。
具体的な項目としては、
①議長からの諮問事項について
②議会フォーラムのあり方
③通年議会について
④議会費について
⑤情報公開のあり方
⑥予算・決算審査のあり方
⑦議会基本条例への対応についてなどに対して、市民と協働で進めていきます。

詳しくは市議会ホームページ内の各委員会活動計画書をご覧ください。

登別市議会 で 検索